

# **Daiichi Sankyo Group Position Statement on Access to Healthcare**

医療アクセスに関するポジションステートメント

(参考和訳)



## 背景

医薬品の創出を通じて世界中の多様な医療ニーズに応え、患者さんとそのご家族のお役に立つことが製薬企業の存在意義です。

第一三共グループは、「世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献する」をパーパスとし、人的、知的、財務などの社内資本に加えて、パートナーシップやオープンイノベーションなどの社会・関係資本を活用し、私たちの強みである「Science & Technology」、「Global Organization & Talent」、「Long-term Commitment」を活かし、企業理念を実践していくことで、社会の発展に継続的に寄与していきます。

製薬企業が取り組むべき医療アクセスの課題として、アンメット・メディカル・ニーズ（未充足な医療ニーズ）、公衆衛生や教育、所得格差などのさまざまな社会的要因に起因する基礎的な医療へのアクセスの制限が挙げられます。

## 基本的な考え方

私たちは、これら医療アクセスの課題に対し、以下に掲げる「研究開発の促進」、「医薬品アクセスの向上」、「開発途上国の医療基盤の強化」を活動の方針として、研究開発から製造、販売、安全性管理にわたるバリューチェーンで取り組みます。また、私たちは、これら医療アクセスの課題解決への取り組みを推進する「医療アクセス責任者（ヘッドオブグローバルコーポレートストラテジー）」を設置し、グループ内の関係組織に加えパートナーとの連携により、医療アクセス向上に取り組みます。

これらの課題解決への取り組みは、国連が定めたSDGs（持続可能な開発目標）の目標3「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」に貢献します。

## 研究開発 Research & Development

私たちは、創薬企業として長年引き継がれてきた研究開発力を活かし、先進的な医薬品を継続的に創出することで、人々の健康を改善し、標準治療を変革する革新的な治療法・予防法の確立に取り組みます。

また、世界で生み出される膨大な研究の成果に速やかにアクセスし、多様化する医療ニーズにより的確に応えるために、外部創薬ネットワークの拡大および多様なイノベーションソースの確保を目指した多くの取り組みを通じて、新たな創薬・技

術研究を共同で展開するパートナーシップを築き、育てるとともに、多くの視点や研究成果の融合を促進します。

当社が持つ研究開発力により、先進国にも共通する医療アクセスの課題である「がん」をはじめとする NCDs（非感染性疾患）、希少疾患などのアンメット・メディカル・ニーズの解決に取り組むと同時に、様々なパートナーシップの活用により、開発途上国におけるマラリア、結核、NTDs（顧みられない熱帯病）への課題解決を目指します。

## 医薬品へのアクセス向上 Availability

医薬品は、必要とする患者さんに届き、患者さんが正しく服用することにより、はじめて意味を持ちます。開発途上国においては供給体制の未整備、偽造医薬品等、先進国においても各国の医療制度の仕組み等により、必要な医薬品へのアクセスが制限される患者さんが存在します。各国市場の事情を十分に考慮し、医薬品へのアクセスを向上させる様々なイニシアティブとの連携を図り、取り組みます。

## 開発途上国等の医療基盤の強化 Capacity Building

開発途上国等における医療アクセスを阻害する要因は、医療保険制度や医療インフラの未整備、医薬品の製造・品質管理や医療従事者の人材不足などさまざまです。これらの課題に対して、私たちが持つ資源を最大限に活用することによりもっとも望ましいインパクトが得られる活動に取り組めます。

---

## Daiichi Sankyo Group 第一三共グループ

Nobuo Murakami

Head of Global Corporate Strategy

Issue Date: April 1st, 2018

Last Update: April 1st, 2026